

事業の名称： 荒廃農地対策事業

団体名	久野地区振興会	事業費	202,016 円
代表者	会長 落合 孝司	補助金交付額	200,000 円

現状と課題

過疎化や高齢化の進行による担い手不足を背景に、遊休農地が増加しており、周辺での病害虫や鳥獣などによる農作物被害の発生要因となっている。再生困難となる前に遊休農地を地域で解消し、保全管理及び担い手による農地活用を促進する必要がある。

事業の目的

遊休農地を地域で解消し、保全管理又は担い手による活用を促進する必要がある。また、地元に残っている担い手だけでは、それらをまかなうことが困難であることから、地区外からの担い手予備軍を呼びこみ、農地活用の促進を図る

実施内容

◇実施状況

地域の課題である遊休農地の解消を図ることを目的にひまわり迷路作成による取組を行うことで、地域の担い手や地区外からの担い手予備軍(若手)への呼びかけを行い、地域課題の解決を行うための事業を以下の通り実施した。

- 先進地視察 美濃地区・益田市
- 遊休農地へのひまわりの種まき
(参加者による交流含む)
- 遊休農地の維持管理(草刈り作業等)
地域の担い手(若者)への熟練者による指導含む



◇成果と課題

遊休農地の解消を通して、地域外からの参加者もあるなど、新たな関係人口の捻出につながった。

農地管理をととして若者と地域住民の交流の場となり、草刈り機械の技術の継承などができた場となった。

農地の保全管理の重要性を伝えたことにより、鳥獣害被害が深刻化する当地区において、若手(30代)の狩猟免許取得があった。

地区内外の呼びかけが足りていない部分もあり、児童・学生を巻き込みながら参加者枠を広げていきたい。